

アシバツナギプレコンタイプ引張試験成績書

品番	試験材	最大引張強度	状態
A B C 8.5 × 60	普通コンクリート 300×300×150 コンクリート圧縮強度 24.0 N/mm ² (24.5 kgf/cm ²) 下穴径: 7mm ねじ込み深さ: 45mm	13,525 N (1,379 kgf)	抜け
A B C 8.5 × 100			

*試験材は J I S A 5308 に準拠したレディーミクストコンクリート

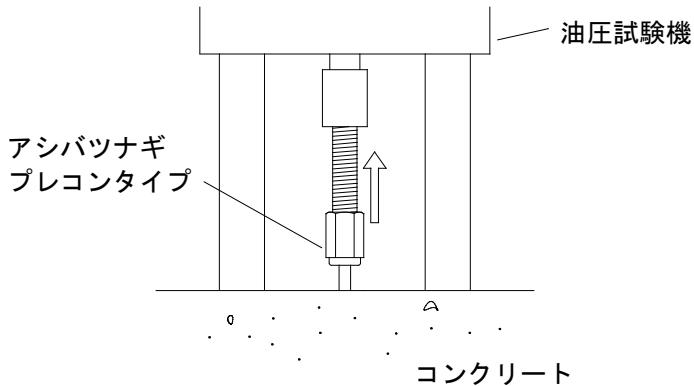
高ナットカーリング部最大引張強度 19,613 N (2,000 kgf)

品番	試験材	最大引張強度	状態
A F C 12.5 × 70	普通コンクリート 300×300×150 コンクリート圧縮強度 24.0 N/mm ² (24.5 kgf/cm ²) 下穴径: 11mm ねじ込み深さ: 70mm	27,175 N (2,771 kgf)	抜け
New A F C 10.5 × 65	普通コンクリート 300×300×150		
New A F C 10.5 × 80	コンクリート圧縮強度		
New A F C 10.5 × 100	24.0 N/mm ² (24.5 kgf/cm ²)		
New A F C 10.5 × 135	下穴径: 9mm ねじ込み深さ: 50mm	16,775 N (1,711 kgf)	抜け

*試験材は J I S A 5308 に準拠したレディーミクストコンクリート

■試験状態

試験材にアシバツナギプレコンタイプをねじ込み、油圧試験機で引張試験をし最大平均値を計測。



- *コンクリート面に直角にねじ込み曲げ方向の荷重が掛からない状態で接続して下さい。
- *施工状態の良し悪しで記載した最大引張強度は大きな差が生じますので十分配慮して下さい。
- *下穴を別工具で穴明けしての使用は最大引張強度の保証はできません。
- *穿孔に際しては、穴内の切粉除去をし下穴径及び穿孔深さは厳守して下さい。 (下穴径は過少、过大では最大引張強度の保証は出来ません。)
- *インパクトレンチによる過分な締め付けは最大引張強度の保証はできません。
- *（社）仮設工業会編の足場工事実務マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して施工を行って下さい。

令和元年8月29日